

揺れ動く国際社会の中。

外国人から見た人権意識に視点をあてるー!

サンコンは語る——

「僕の肌、黒いでしょ…肌の色隠せないの」  
「僕思うの、心の問題が差別をなくしていくの」  
「だって、同じ地球に住む人間だもの…!」

文部科学省選定

優秀映画鑑賞会推薦

映倫青少年映画審議会推薦

青少年育成国民会議推薦

教育映像祭優秀作品賞受賞



# 愛は海より深く

オスマン・サンコン

村尾香利

亀山忍

ジェフ・バーグランド

久保明

野口ふみえ

岡八郎

桜むつ子

長門勇

監督・黒田義之

撮影・林健作

照明・井上孝二

編集・荒木健夫

記録・谷慶子

録音・マイクル佐俣

整音・栗山日出登

音楽・森琢磨

脚本・石村嘉子

八頭司重信

プロデューサー・管田浩

製作・八頭司享



企画/和歌山県同和委員会 制作/共和教育映画社

# 愛は海より深く

上映時間55分

文部科学省選定



プロデューサー 菅田 浩  
 製作 八頭司 享  
 脚本 石村嘉子  
 音楽 森 琢磨  
 監督 黒田義之  
 撮影 林健作  
 照明 井上孝二  
 編集 荒木健夫  
 記録 谷慶子  
 録音 マイクル佐保  
 整音 栗山日出登  
 ジェフ・バーグランド  
 野口ふみえ  
 久保明  
 岡八郎  
 桜むつ子  
 長門勇  
 村尾香利  
 亀山忍  
 オスマン・サンコン

差別とたたかい力強く生きる姿を描いた感動の人権問題啓発ドラマ！  
 差別のない明るい国際社会の実現を願って制作した作品です。



〈あらすじ〉

美しい南紀の海岸線を電車が走っている。電車の中に一人の外国人、ギニアの人（オスマン・サンコン）が乗っている。空席が目立つ電車の中で地図を広げ、周りを見渡している。ちょっと離れた向い側の席にいる釣り人（岡八郎）に声をかける。外国人に話しかけられ、迷惑そうな釣り人は、何やら話していたが、「こんな小っちゃい竿で鯨なんか釣れるかいな。」とぶつぶつ言いながら席を立っていく。（サンコンはくじら博物館はどの駅で降りたらいいのか尋ねていたのだ。）

しかたなくサンコンは次の駅で降りてしまった。この駅は、駅長（長門勇）一人しかいない小さな駅で、駅長に行き先を尋ねるが、これまた二人は、ちんぷんかんぷんで、やっと、くじら博物館に行くバスに乗せることができた。駅長は汗を拭きながら「国際社会やな、英語ぐらいしゃべらんとあかんか・・・？」とつぶやいている。

無事、くじら博物館に着いたサンコンは、友人の鯨の研究者（ジェフ・バーグランド）に会う。ジェフはサンコンに、自分の助手、野村（亀山忍）とその恋人（同じ博物館に勤める）順子（村尾香利）を紹介する。

サンコンは大学時代、肌の色が違うのでよく差別された。その時いつもジェフが助けてくれた事など、順子に話してくれた。その夜、何故か順子は眠れなかった。

順子は、母の京子（野口ふみえ）と二人暮らしで、京子は魚市場で働いている。父、若木悟（久保明）は同和地区の生まれで、順子が生まれる前に別れたと聞かされている。けれども順子はまだ、父親に一度も会ったことはない。

そんな時、父の若木が博物館に順子を訪ねてきた。驚く順子に「おばあちゃん（桜むつ子）が順子に会いたがってる・・・一度会ってくれんやろか」と順子に頼むが、初めて会う父に順子は冷たく、その場を立ち去る。

その様子を野村が物陰から見ている。

若木は京子にも、電話で「今、順子に会ってきた。おばあちゃんに順子を会わせてやってくれ・・・」と頼むが、何年ぶりの電話に、京子はうろたえている。

その夜、京子は順子に「次の日曜日、野村さんとサンコンさんを誘って、本宮のお祭りに行ってきたら、サンコンさん御神輿見て、きっと喜ぶわよ」と勧める。

日曜日。サンコンは圭太（小学5年生で順子の家と親しくしている旅館の息子）と一緒に、野村が運転する車で祭り見物に出かけた。「わっしょい、わっしょい」と神輿が行く中、順子は若木（父）に出会う。だが、顔をそむけ、逃げるようにその場を立ち去る。

後を追う野村「順子さん・・・君はお父さんを差別している。お父さんの存在を認めたら、君も同じ立場に置かれる。それが恐いのか、・・・心のどこかに、そんなこだわりをもっている。僕たちの心は決まっているやないか・・・！」と言いきる。順子と野村の様子を察したのか、サンコンは順子に「同じ民族なのにどうして差別するの、僕、分からない？・・・順子さん、僕を差別してる？」「いいえ」「でしょう・・・僕をよく理解してくれたからだと思うの」「・・・」「順子さん、相手をよく理解することが大切なの・・・それと心の問題が差別をなくしていくのよ」「だって同じ地球に住む人間どうしだもの」

サンコンと野村に意見され、順子は、自分の間違いに気付いていくのでした。

そして数日後、順子は、京子の作った<sup>たけのこ</sup>筍ずしを手し、おばあちゃんに会いに出かける。一方、圭太はサンコンを野村の車で「サンコンさんの国が見える所へ連れて行ってやる」と、本州最南端端岬に案内する。見渡す限りの水平線に、圭太は「見えなくてごめんね・・・」と謝る。サンコンは、圭太の暖かい気持ちが嬉しかった。何時までも何時までも水平線のかなたを眺めていた。

緑が深い山あい、きれいな川が流れている。その川に沿って小さな集落がある。順子は、父の故郷を訪ねていた。そこで、おばあちゃんから、父と母は愛しあっていたことを聞かされる。又、父は「・・・お父さんは、・・・お前たちのこと、一日も忘れたことは無かった」とすすり泣く。

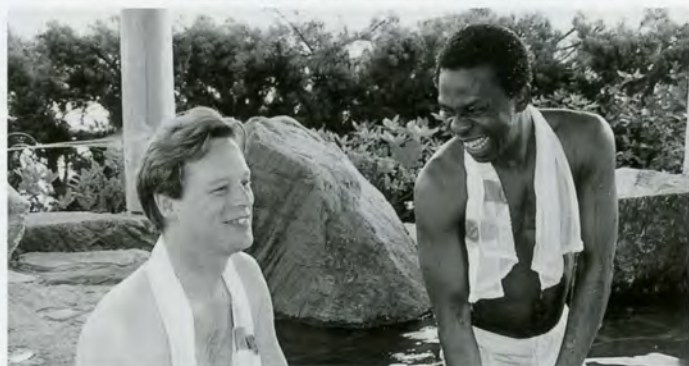
父の言葉に胸をうたれた順子は、目頭が熱くなり、その目から大粒の涙がとめどもなくほほを伝っていくのでした。

愛する人との仲を引き裂く・・・それほど差別は厳しかった。

おばあちゃんは順子に「離れていても家族は家族や・・・みんな同じ人間や・・・」とやさしく順子の肩を抱きよせる。

順子の心は大きく揺れ動いていく。

そして、サンコンは素晴らしい思い出を残し、南紀を後にした。



頒布価格 16ミリ版 ¥231,000 ビデオ ¥105,000



共和教育映画社

〒533-0031 大阪市東淀川区西淡路6-4-111 延原倉庫淡路物流センター

TEL 06-6322-1800 FAX 06-6322-2255

URL <http://www.kyowafilm.com> E-mail [avl@kyowafilm.com](mailto:avl@kyowafilm.com)